

## 今こそ身につけたい“教養”、 大人のためのWebマガジン「LINK@TOYO」

LINK@TOYOは、本学の先駆的な研究や人材を通じて、暮らし・ビジネス・社会問題・スポーツ・芸術などあらゆる“教養”の獲得を後押しするWebマガジンです。総合大学である本学ならではの幅広い研究と、個性豊かな在学生・卒業生による活動など豊富なコンテンツを展開しています。



### ▼ What's New

**LIFE** 気軽に天文学入門！宇宙の謎に迫り、天体の美しさを味わえる「天体観測」を自宅で楽しむ方法とは

文学部国際文化コミュニケーション学科 萩原喜昭教授

**SOCIAL** 災害時の明暗を分ける「情報」。減災・防災につながるリスク・コミュニケーションを専門家が語る

社会学部メディアコミュニケーション学科 中村功教授

**LIFE** フェイクニュースを生むのは“情報の偏り”？ SNS時代のネットに潜む危険を大学教員に聞いた

社会学部メディアコミュニケーション学科 小笠原盛浩教授

**CULTURE** 舞踊評論家に聞く！クラシックバレエの楽しみ方。国際化の時代に世界中から注目されるバレエの魅力とは？

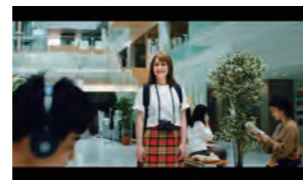
社会学部メディアコミュニケーション学科 海野敏教授

<https://www.toyo.ac.jp/link-toyo/>



### 海外向けPR動画「Toyo U x To You」を公開

本学の研究・教育そして外国人留学生の学生生活を海外に向けて発信するPR動画を公開しました。グローバル化を推進する本学のスピード感、国際性・多様性を海外に向けてPRする内容となっており、外国人留学生を主人公に、本学の各所を巡る中で多くの出会いやその心情などを描いたシネマ調の動画に仕上げました。加えてマイクロドローンでキャンパス内を撮影したダイナミックな映像のコラボレーションにより、グローバルに変容する本学の姿を表現しています。ぜひご覧ください。



<https://youtu.be/7EWjMnB28ks>

### 大学生活に役立つ情報が満載 学報バックナンバー

学報のバックナンバーは、  
本学Webサイトでご覧いただけます。

<https://www.toyo.ac.jp/about/gakuhou/>



### TOYO UNIVERSITY NEWS -English Edition-

The English edition of TOYO UNIVERSITY NEWS is available  
on the University's official website.  
To read the English edition, access the web page below.

<https://www.toyo.ac.jp/en/about/gakuhou/>



### 東洋大学教育・研究協力資金 ご支援のお願い

東洋大学では、日本および世界の将来を見据え、先進的な知的拠点の確立を目指すとともに、国際社会で活躍できる人材育成に取り組んでおります。そこで、本学の教育・研究協力資金のご支援をお願いするための情報発信を行う本学Webサイトを公開しています。詳細は右記URLからご覧ください。 <https://kifu.toyo.ac.jp/>



発行日／2022年3月7日  
発行／東洋大学  
編集／総務部広報課  
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20  
TEL 03-3945-7571  
URL <https://www.toyo.ac.jp> E-mail [mlkoho@toyo.jp](mailto:mlkoho@toyo.jp)

次号の発行予定は、2022年4月です。（英語版はWebサイトで公開予定）

# TOYO NEWS UNIVERSITY

東洋大学報

Mar. 2022  
No.265

第35回 東洋大学  
現代学生百人一首

国際交流宿舎  
AI-House HUB-4が完成



表紙&巻頭ページの写真：赤羽台キャンパス国際交流宿舎「AI-House HUB-4」



## CONTENTS

TOYO UNIVERSITY NEWS  
-English Edition-

The English edition of TOYO UNIVERSITY NEWS is available  
on the University's official website.  
To read the English edition, access the web page below.

<https://www.toyo.ac.jp/en/about/gakuhou/>



- |    |  |    |  |    |   |
|----|--|----|--|----|---|
| 04 | 第35回 東洋大学<br>現代学生百人一首  | 08 | 日本にしながらグローバル感覚を養う<br>国際交流宿舎<br>AI-House HUB-4が完成     | 14 | Progress 未来へはばたく在学生<br>理工学部電気電子情報工学科4年<br>松井 文也 |
| 06 | 第35回記念インタビュー<br>誰でも気軽に楽しめる<br>「現代学生百人一首」<br>文学部日本文学文化学科 准教授<br>高柳 祐子 | 10 | 第98回箱根駅伝 総合4位・往路9位・復路2位<br>応援が力に。<br>チーム全員で見せた鉄紺の証明。 | 16 | NEWS  |
|    |  | 12 | Alumni Report<br>株式会社 A Standard 代表取締役<br>村井 忠寛      | 21 | INFORMATION                                     |

文部科学省後援

第35回

# 東洋大学 現代学生百人一首

1987年、本学創立100周年の「百」にちなんだ記念行事のひとつとして開始した現代学生百人一首は、今回で35回目を迎え、累計応募作品数は、1,651,524首を数えます。毎年国内外から「現代学生のもの見方・生活感覚」をテーマとした瑞々しい感性あふれる短歌が集まります。第35回となる今回は、771校より78,444首の作品が寄せられ、前回の応募数を13,000近く上回る過去最多の応募数となりました。2022年1月、厳正な審査のうえ、学生たちの「いま」を鮮やかに切り取った入選100首と小学生の部入選10首を発表しました。ここではその中でも特に優れた秀逸作品15首を紹介いたします。



『百人一首かるた』  
江戸時代  
東洋大学附属図書館所属

## 第35回「現代学生百人一首」概要

- ◆ 応募期間：2021年9月17日(金)～10月13日(水) 郵送必着
- ◆ 選考方法：東洋大学「現代学生百人一首」選考委員会にて選考
- ◆ 選考委員長：高柳 祐子 東洋大学文学部准教授
- ◆ 選考委員：神田 重幸 東洋大学名誉教授  
中川 佐和子 歌人／歌誌『未来』選者 現代歌人協会理事  
坂井 修一 歌人／歌誌『かりん』編集人 現代歌人協会副理事長

### ◆ その他応募について

応募作品は、未発表の自作の短歌に限ります。  
なお、入選者100名には賞状と図書カード10,000円分(小学生の部入選者10名には賞状と図書カード2,000円分)を贈呈しています。

※第36回の募集要項については、2022年6月中旬に発表の予定です。  
詳しくは、大学公式Webサイトをご確認ください。

## お知らせ

### 2022年編纂第35回冊子完成

入選作品100首と小学生の部入選作品10首、日本語学校・海外協定校で学ぶ学生の優秀作品3首を収録した編纂冊子が完成しました。秀逸作品には、選考委員による選評が付記されています。本冊子は、東洋大学構内ラックに配架しています。また希望者には送料のみの負担でお送りしています。

▶ <https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/issyu/booklet/>

お問い合わせ先：東洋大学広報課「現代学生百人一首」冊子希望係  
TEL：03-3945-7571

現代学生百人一首冊子

検索



## 第三十五回 現代学生百人一首 (二〇二二年度) 秀逸作品の紹介

※記載した学年は二〇二二年一月十五日入選作品発表時のものです。

- 風を切り仲間目指してひた走る溢れる思いに込めて  
(福島県立安積黎明高等学校 1年 堀田雅織さん)
- 三〇〇年時空をこえてバロックを奏でる僕にバッハがコケる  
(市川中学校 2年 鈴木優紀さん)
- 女子美生絵の具のついた仕事着の汚れでさえも作品のよう  
(女子美術大学付属中学校 2年 丸井通香さん)
- 文化祭二年連続オンライン慣らされていくこの空気感  
(慶應義塾湘南藤沢高等学校 2年 石川胡桃さん)
- 「眩しいね」「猛暑日だもんね」そうじゃないあなたの笑顔と光る汗だよ  
(千葉県立千葉中学校 3年 但馬凜さん)
- 顔加工男に変身してみたら「パパにそっくり！」シヨックな私  
(茨城高等学校 1年 小室華凜さん)
- 休日に壁越しに聞く会議の声優しい父の上司の一面  
(千葉県立八千代東高等学校 1年 鶴岡彩音さん)
- 家の中授業を受ける弟の背後を通る私は忍者  
(専修大学附属高等学校 2年 小塚萌愛さん)
- 祖母からの贈り物には茄子があり畑が薫る今日の夕飯  
(貞静学園中学校 2年 高橋永尚さん)
- ぐうたら父も外では郵便屋日焼けでわかる灼熱地獄  
(貞静学園高等学校 2年 松橋明句さん)
- 風鈴の夏を連れだすその音は時をまたいで心やすらぐ  
(東京農業大学第一高等学校 1年 恩田優奈さん)
- 十七色のSDGsが叫ばれる僕らの日常変わらないけど  
(東京学館新潟高等学校 1年 五十嵐天邑さん)
- 視線落ち口にはマスク会話なく耳にはイヤホンまるで三猿  
(西宮市立西宮東高等学校 1年 永井凜子さん)
- 時計地図写真音楽お財布も気づけばみんなスマホの中に  
(普通士学園中学校 2年 赤間夏妃さん)
- 日本語だ誰も知らないノルウェイでふいに聞こえる行列の中  
(慶應義塾ニューヨーク学院〔高等部〕 3年 三輪茉莉奈さん)

※このほかの入選作品は、大学公式Webサイトにてご紹介しています。ぜひご覧ください。



◆ 「現代学生百人一首」Webサイト  
過去の入選作品や募集要項、各種お知らせを掲載しています。▶ <https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/issyu/> 現代学生百人一首 検索

## 現代学生百人一首 選考委員長 高柳先生 インタビュー



現代学生百人一首選考委員長を務める文学部の高柳祐子准教授に現代学生百人一首の魅力や今回の入選作品についてお話を伺いました。



## 第35回記念インタビュー

# 誰でも気軽に楽しめる 「現代学生百人一首」

文学部日本文学文化学科 准教授

高柳 祐子

## Profile

文学部日本文学文化学科准教授。博士(文学)。専門分野は和歌文学、中世文学。第33回東洋大学現代学生百人一首より選考委員に、第34回・35回で選考委員長を務める。論文に「甘露寺親長の歌会 ― 室町和歌史一面」(国語国文86巻11号)、「歌人式子内親王の播磨期をめぐって」(和歌文学研究106号)など

## 初めての短歌にお薦めの入門書

1日1テーマ30日間のドリル式で、短歌の基礎知識や作り方のコツがわかる実践的入門書。著者の中川先生は歌人で、第35回「現代学生百人一首」の選考委員も務めています。初歩から学びたい人に、先ず手に取ってほしいやさしい一冊です。

『30日のドリル式  
初心者やさしい短歌の練習帳』  
著：中川 佐和子 出版：池田書店



## 1 実は論理的。 短歌を読み解く面白さ

私は中世(12世紀～16世紀頃)に作られた和歌を中心に研究を行っています。詠まれた場所や歌人に注目したり、または表現方法から一首の意味や解釈を探ったり、さまざまな観点から和歌というものの解明を目指しています。和歌・短歌がどういうものか、わからないという声をよく聞きますが、私も高校までは短歌は抽象的で詠むのにセンスが必要なものだと思っていました。しかし大学で和歌文学を研究している先生と出会い、実はとても具体的に論理的に解釈できるものだということを知り、その奥深さに魅了されていきました。例えば、ホトトギス。古典の世界では非常に重要な鳥とされていて、ホトトギスを用いた和歌は「待ち望む心」を詠むとルールが決まっています。五・七・五・七・七の31文字のなかで、詠んだ人の待ち望む心がどのような言葉で表現されているのかを押さえ、その本意を読み解く。そのような面白さがあります。

## 3 作品を鑑賞するときは考えず、 感じてほしい

「現代学生百人一首」では「現代学生のもの見方・生活感覚」をテーマに、児童・生徒・学生ならではの視点で日常をリアルに切り取った作品が毎年集まります。今回はコロナ禍で通常の学生生活が叶わない中でしなやかに適応し、マスクで「盛れる」とこの状況を前向きに楽しんだり、逆に部活動が思うようにできない憤りを詠んでみたりと学生たちの思いが作品を通してうかがえました。一方で、恋や勉強・進路の悩みといったいつの時代も変わらない青春を詠んだ作品も多くあります。その時勢を映す「変わる青春」と「変わらない青春」を、世代を超えて楽しんでもらうことができます。作品一つをとっても、鑑賞する側の世代や立場によっても受け取り方は異なり、共感するポイントもそれぞれです。鑑賞するときは難しいことは考えず、感じたものを大切に思う存分、作品のなかにある青春に浸ってほしいと思います。

## 2 短歌の魅力は とても気軽に始められること

31文字の型が決まっていて、誰にでも気軽に作りやすいのが短歌の魅力です。また、五・七・五・七・七の韻律が日本人によく馴染んでいるのも永く愛されている理由だと思います。この文字数には、すべてを表現せずとも想像を膨らませるために必要最低限の情報が入るといった絶妙さがあります。伝えたいことは伝えつつ、想像できる裁量が鑑賞する側に委ねられているので、短歌の表現は共感されやすいのだと思います。例えば、「現代学生百人一首」に数学の「動く点P」を詠んだ作品がありますが、「点P」という共通認識から学校の教室や黒板に書かれた数式、学友との思い出など鑑賞者それぞれの「点P」にまつわる情景が連想されていきます。「現代学生百人一首」は、多くの方が学生時代に経験したり、感じた共通項を踏まえているものが多いので、より共感性が高い作品が生まれるでしょう。

## 4 35年継がれてきた 「現代学生百人一首」

「現代学生百人一首」は35回目を迎えました。この規模の学生短歌コンクールはほかに類似がなく、毎年楽しみにしているファンの方も多くいます。なかにはこの「現代学生百人一首」が縁となり、東洋大学に入学した学生もいました。短歌を詠む学生は次の世代へと変わっていきませんが、作品は普遍的なものとして残っていきます。また継続することで、年々、学生たちの変化も見えてきます。例えば今後コロナが終息した時には、さまざまな感性の作品が新たに生まれるでしょう。ニュース等では伝わらない学生の心の内や姿勢が作品から見えてきたりしますので、そのような面でも作品として残ることは非常に価値があるものだと思います。

この「現代学生百人一首」を通して、古典に興味を持ったり、過去の作品に触れて当時の学生が何を感じながら過ごしていたのかを知り、現代との違いに驚いたりしてもらえるとうれしく思います。

## ◆百人一首にまつわる貴重資料

本学附属図書館では百人一首にまつわる華麗な絵巻や絵本、かるたなどの貴重書を多数所蔵しており、国内でも有数のコレクションです。日本の伝統文化を後世に伝える役割を担っています。



百人一首かるた  
刊年：江戸時代

読み札・取り札とも8.5×5.5cm、墨書の百枚揃い。赤錆色の被せ蓋の外箱に収納。



小倉擬百人一首  
刊年：天保・弘化頃

百枚揃い、大判錦絵。小倉百人一首の歌を基に役者絵を擬して当世風に仕立てたもの。

高柳先生が語る『なぜ、現代短歌がZ世代の心をつかむのか？ブームの鍵は「いいね」にあった』をWebメディア「LINK@TOYO」にて公開中です。

LINK@TOYO

検索



日本にしながらグローバル感覚を養う

# 国際交流宿舎 AI-House HUB-4が完成

2022年1月、交流と学びを通じ学生の成長を促す国際交流宿舎「AI-House HUB-4」が赤羽台キャンパス内に誕生。本学の正規学生であれば日本に在住する国内生、海外からの留学生を問わず、だれでも居住することができます。また、交換留学生も滞在します。

ここでさまざまな仲間と出会い、ともに生活をし、異文化や多様性を感じ学ぶ中で、国際感覚豊かな「共生する力」を養ってほしい。AI-House HUB-4にはそのような熱い願いが込められています。

今回、高橋一男副学長(国際担当)にAI-House HUB-4の魅力を伺いました。

AI-House HUB-4の詳細は特設Webサイトにてご覧いただけます。



1	3
2	4

1 陽射しが降りそそぐ明るい中庭が2つあり、軽運動やイベントができたりウッドデッキでくつろいで談話を楽しむことができます。中庭に面して突き出て見えるのは各フロアの学習室です。

2 白を基調とした一般寮室には、クローゼットのほかに壁収納棚や天井吊りの収納などが充実。ベッドと机、エアコン、冷蔵庫が備え付けとなります。

3 各フロアに大・小サイズの異なる誰でも使える4つの共用キッチンがあり、自炊や食を通じた文化交流ができます。

4 中庭に面してガラス張りの学習室と映像鑑賞や学習発表ができる多目的室を全フロアに配置。いたるところに畳やフローリングのスペースがあり、日常的に入居者同士の交流を図ることができます。

## Message From the Vice President

異文化の交流地点で暮らし、刺激し合うことで  
「共生する力」を身につけた人材に

東洋大学 副学長(国際担当)  
国際学部教授  
高橋 一男



### 生活のなかで異文化理解を深める

AI-House (アイ・ハウス) HUB-4は国際会館(東京都文京区)に次ぐ国際交流宿舎で、約300名が入居することができます。日本に在住する国内生と海外からの留学生が混住する「共生の場」がコンセプトです。この宿舎には数多くの共有リビングスペースや誰でも使える学習室や多目的室を備えており、個室から一步出るとそこは国際社会の縮図ともいえるグローバルな空間が広がっています。日常生活を通して多彩な異文化交流ができる空間となります。

### 多彩な教育プログラムやイベント

入居者の生活全般をサポートする学生のRA(レジデント・アシスタント)をおき、定期的に各種イベントや、外部講師を招いた特別セミナーなども行う予定です。留学生には「共用キッチン」で母国の料理や文化を紹介してもらったり、国内生はそれぞれの出身地の風土・慣習・伝統や東京での生活のノウハウを教えたりするなど、相互に交流する機会を設けることで、やがて自発的なコミュニケーションへ発展することを望んでいます。

### グローバルなコミュニティで学ぶこと

良質なコミュニティを形成し維持するためには、快適な生活環境やルール作りを行い、一人ひとりが責任を持ち守っていくことが大切です。生活習慣や文化が異なる人たちが集まると摩擦が生じやすくなりますが、皆さんには異文化を理解する能力、課題発見力や解決能力を身につけてほしいと願います。また同時に、グローバル社会で求められるクリティカルシンキングスキルを、生活しながら養うことができるこの環境を楽しんでもらいたいと思います。

宿舎の中で多彩な異文化交流ができる学生生活は、海外留学ともまた違う刺激的な経験となります。AI-House HUB-4での生活を皆さんが今後の人生のステップに生かし、グローバル人材となって世界に羽ばたいていく未来に期待します。

## Information

地上5階建て、一般寮室288人・バリアフリー室4人収容  
食堂、共用キッチン、音楽スタジオ、多目的スタジオ、共用学習室 完備

### 24時間安心のセキュリティー

管理人が住み込みで常駐し夜間は警備員を配置。急病、緊急時などには管理人やRAが対応するため安心です。居住フロアは男女別になっており、居住者のプライベート空間も確保しています。

### 朝と夕、栄養バランスの整った食事を提供

宿舎内の食堂「AI-House Global Dining Hall」では、管理栄養士が栄養バランスを考えて献立を作成。おいしい食事を、学期期間中の月～金曜、朝食と夕食の1日2回提供します。ベジタリアン、ハラールにも対応しています。

#### 交通アクセス

・JR「赤羽駅」西口出口から徒歩8分  
・東京メトロ南北線  
「赤羽岩淵駅」2番出口から徒歩10分

#### 費用

・入寮費：50,000円(入寮時のみ)  
・一般個室：96,000円/月  
・バリアフリー室：108,000円/月

※光熱水費・インターネット利用料・食事代込、  
寝具レンタル料別(2,300円/月)

#### 入居期間

最短1学期～最長4学期  
※期間中にRAとして採用された場合は  
さらに4学期間入居可能です

※入居にあたり語学力や留学の意思などの条件はありません。 ※入居者の半数は日本人学生、半数は留学生を想定。

# 第98回箱根駅伝

2022年1月2日・3日

総合4位 (10:54:59) ・ 往路9位 (5:28:34) ・ 復路2位 (5:26:25)

## 応援が力に。 チーム全員で見せた 鉄紺の証明。

2022年1月2日・3日の2日間にわたり開催された第98回箱根駅伝。「鉄紺の証明」と掲げた今季スローガンへの意地を見せる粘り強い走りで総合第4位に輝いた。

各校が実力者を揃え、激しい上位争いが予想された今大会。往路では、松山和希選手(2年)が昨年に続き花の2区を走行し区間5位の好走を見せ、5区ではラストランとなる主将宮下隼人選手(4年)が順位を3つ上げるも5時間28分34秒、9位での折り返しとなった。翌日の復路では、8区の蝦夷森章太選手(4年)が区間4位、9区の前田義弘選手(3年)が区間5位と追走し、巻き返しを展開。最終10区は、前と1秒差の7位で2年連続アンカーを務める清野太雅選手(3年)に襷を繋いだ。その後、清野選手が3枚を追い抜く力強い走りをゴール直前まで見せ、3位を走る駒澤大学に2秒差まで迫る総合4位でフィニッシュ。目標としていた総合3位にあともう少しのところまで追い上げ、復路順位2位を打ち出し、目まぐるしく順位変動があった大会をしめくくった。

写真：東洋大学 / 月刊陸上競技



### 総合成績

1位	青山学院大学	10:43:42
2位	順天堂大学	10:54:33
3位	駒澤大学	10:54:57
4位	東洋大学	10:54:59
5位	東京国際大学	10:55:14
6位	中央大学	10:55:44
7位	創価大学	10:56:30
8位	國學院大学	10:57:10
9位	帝京大学	10:58:06
10位	法政大学	10:58:46



### 酒井 俊幸 監督 コメント

第98回箱根駅伝では多くの方々に支えられ、20年連続80回の出場を果たしました。大会開催に御尽力いただいた多くの方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。今回の箱根駅伝は出雲駅伝、全日本大学駅伝で区間賞を獲得した石田選手の調整が間に合わず、ベストメンバーが揃わない苦しいオーダー編成となりました。往路は想定よりも出遅れてしまいましたが、気持ちを切り替えて最後まで諦めない走りをしていこうと復路メンバーに伝え、翌日に臨みました。復路は各区間ともに最後の最後まで粘りのある走りで、次の走者に闘争心の宿った鉄紺の襷渡しをしてくれました。目標の3位以内は達成できませんでしたが、復路2位と巻き返し17年連続のシード権を獲得。運営管理車から見つめていた選手たちの背中からは、箱根駅伝やチーム、誰かのために届けたい思いが伝わってきました。レース全体を振り返ると、鉄紺の伝統を背負い、選手全員が粘り強く走りました。限界を超えて1秒をけずりだすひたむきな走りがあったことは、大きな成長とともに大きな感動も生まれました。優勝タイムとは大きな差がある結果となりましたが、この差を埋められるようなチームをめざしてこれからも取り組んでまいります。今後とも応援よろしくお願いいたします。

### 往路

**1区**  
大手町 - 鶴見  
21.3 km

児玉 悠輔 選手  
経済学部  
経済学科 3年

Time **1:02:07**

走行順位 **12位**  
区間順位 **12位**

**2区**  
鶴見 - 戸塚  
23.1 km

松山 和希 選手  
総合情報学部  
総合情報学科 2年

Time **1:07:02**

走行順位 **8位**  
区間順位 **5位**

**3区**  
戸塚 - 平塚  
21.4 km

佐藤 真優 選手  
総合情報学部  
総合情報学科 2年

Time **1:02:46**

走行順位 **6位**  
区間順位 **8位**

**4区**  
平塚 - 小田原  
20.9 km

木本 大地 選手  
経済学部  
総合政策学科 3年

Time **1:04:17**

走行順位 **12位**  
区間順位 **18位**

**5区**  
小田原 - 箱根町  
20.8 km

宮下 隼人 選手  
理工学部  
電気電子情報工学科 4年

Time **1:12:22**

走行順位 **9位**  
区間順位 **8位**

### 復路

**6区**  
箱根町 - 小田原  
20.8 km

九嶋 恵舜 選手  
経済学部  
経済学科 2年

Time **0:59:19**

走行順位 **9位**  
区間順位 **10位**

**7区**  
小田原 - 平塚  
21.3 km

梅崎 蓮 選手  
総合情報学部  
総合情報学科 1年

Time **1:04:13**

走行順位 **9位**  
区間順位 **11位**

**8区**  
平塚 - 戸塚  
21.4 km

蝦夷森 章太 選手  
ライフデザイン学部  
健康スポーツ学科 4年

Time **1:05:04**

走行順位 **9位**  
区間順位 **4位**

**9区**  
戸塚 - 鶴見  
23.1 km

前田 義弘 選手  
経済学部  
経済学科 3年

Time **1:08:59**

走行順位 **7位**  
区間順位 **5位**

**10区**  
鶴見 - 大手町  
23.0 km

清野 太雅 選手  
経済学部  
経済学科 3年

Time **1:08:50**

走行順位 **4位**  
区間順位 **2位**

Special Interview OB・OGの今

# Alumni Report

株式会社 A Standard 代表取締役

村井 忠寛 むらい ただひろ

波瀾万丈の競技人生を通して、  
見えてきたセカンドキャリア。

北海道出身の私は、小学4年生の時に友人に誘われたのがきっかけでアイスホッケーを始めました。周り比べて競技開始も遅く上手くはありませんでしたが、6年生の時に友人とコーチとともに練習や筋トレを毎日行くと、最後の2つの地区大会で優勝できたのです。このことがプロセスを大事にすると結果に繋がることを知る原体験となっています。高校からはプロになることを目標に掲げ、今の自分に何が足りないのか、今何をすべきなのかを常に考えて練習を重ね、大学入学後は、「優勝から遠ざかっていたチームを絶対に自分達で変えてみせる!」と、1年時から強い意志をもって練習に取り組み、インカレを連覇(後に6連覇へとつながった)。4年時には主将となり、東洋大学史上初の年間3冠を成し遂げるまでになりました。チームの歴史を変えようと共に励んだ仲間やそのような環境を与えてくれた監督・スタッフたちとの出会いは私の大きな財産です。今年度、東洋大学は年間3冠、無敗優勝と輝かしい成績を残しました。素晴らしい結果であり、その歴史の礎となれたことを光栄に思います。

卒業後、プロアスリートとしてのキャリアは古河電工でスタートしました。ここで全力を尽し、現役引退後は会社員として管理職をめざす。そんなキャリアプランを描いていました。しかし念願の試合に出られるようになった矢先、状況は一変。チームの廃部を言い渡されました。今まであった当たり前が突然なくなる。学校や会社など皆さんの身近なことに置き換えると、その衝撃は容易に想像できると思います。他のチームへ移籍する選択もありましたが、当時の私はリスクを背負ってでもアグレッシブに挑戦できる20代前半。後悔はしたくないと、市民クラブとしてチームを存続させるために資金やスポンサー集めなどに奔走しました。そして、多くのファンや企業からのご支援のもと、チームは日本ホッケー界初の市民クラブ『H.C.日光アイスボックス(現:H.C.栃木日光アイスボックス)』として再スタートを切ることができました。「できないことはない。気持ちだけで何でもできる」トランジションに対し私が大事にしているこの考え方は、そういった経験のもとにあります。

大切なのは結果を得るためどう取り組み、  
そこに到達したかというプロセス。

引退後、「H.C.栃木日光アイスボックス」の監督を経て現在、私はアスリートの育成やキャリア支援等を行う会社を立ち上げ、チームや学校などでの競技指導とともに、さまざまな活動をしています。その一つが、アスリートのデュアルキャリア<sup>※</sup>支援です。アスリートが競技生活を通して培える「自己と向き合う力」「人とのコミュニケーション力」「課題を発見し解決する力」の3つのスキルを、別のステージや次のキャリアでどのように活かしていくか。その点に重きを置き、大学などで現役アスリートのキャリア形成の支援を図っています。

私がかねてから、「プロスポーツ選手になったプライドではなく、そこに至るまでに積み上げた努力のプロセスにプライドをもつことを大切にしてほしい」と伝えています。あるプロスポーツ選手を支援した時のことです。その方は引退後、ある企業への就職を希望していました。そこで、その目標達成のため、定めたタスクに計画的に取り組むことと、志望理由や何を実現したいかなどをより具体的に細分化し書きまとめることを勧めました。面接の際にこれらの過程をアピールした結果、無事に就職することができました。私は、目標に辿り着くまでの計画性や行動力といったプロセスと努力を評価していただけたのだと嬉しく思いました。本当に大切なのは、目標到達まで試行錯誤を繰り返しながら取り組むことや前向きに行動する姿勢などといったプロセスであり、これらは活動を通じて培うことのできるスキルとなります。そして、それが生涯にわたって自身の土台となると私は考えています。このことはアスリートに限ったことではありません。

また、「自分のやりたいことがわからない」と言われることがよくあります。そんな時は、自分を知ることが大切にするよう伝えています。東洋大学の教育の柱の一つに「哲学」がありますが、自分自身について先入観にとらわれず客観的に深く考えていくと、やりたいことも自ずと見えてくるはず。これまでに何をしてきたのか、自分は何が好きで何を大切にしているのか。家族などの身近な人や今まで関わった人に、自分がどんな人間か聞いてみるのもいいでしょう。誰にでも皆、強みがあり弱みもあります。学生の皆さんには、人との関わりとともにさまざまな経験を通して自らの強みを発見し、自身の可能性を信じて次のステージを目指してほしいと思います。

※アスリートが将来設計を目的として、競技活動とそれ以外の進学や留学、就職など2つのキャリアを同時に並行して両立すること。



## Profile

1998年、社会学部社会学科卒業。在学中はアイススケート部ホッケー部門に在籍し、2年時よりチームをインカレ優勝に導くなど強豪校としての礎を築く。卒業後は、古河電気工業株式会社で競技を続け、ユニバーシアード日本代表にも選出される。その後、H.C.日光アイスボックスで活躍し、引退後は同チームの監督を務めた。現在はアスリートの育成・キャリア支援等を担う会社を立ち上げ、コーチングや子ども向けスクールの運営、講演会等、多岐にわたり事業を行う。

# Progress

未来へはばたく在学生

東洋大学には学問・研究・スポーツ・ボランティアなど、多様な領域で活躍する学生がたくさんいます。今回は、研究活動の発表の場である国際学会にて優秀賞を受賞した松井文也さんにお話を伺いました。

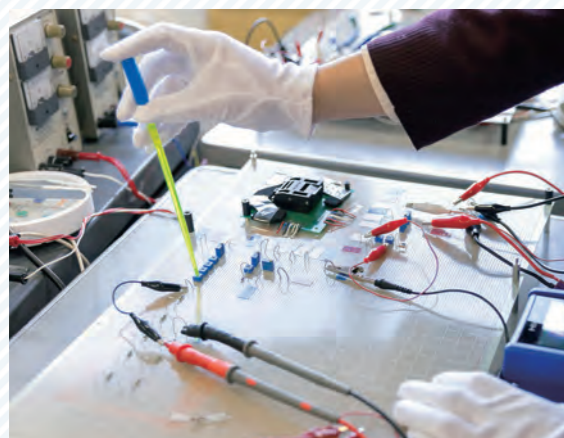
理工学部  
電気電子情報工学科4年

松井 文也

理工学部電気電子情報工学科・佐野勇司教授の研究室にて信号処理IC(集積回路)、アナログ回路を研究。  
自ら設計した試作品の性能を国際学会IEEE主催のTJCAS2021\*で発表し、「Best Student Presentation Award」を受賞。  
\*2021 Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems



## 子どもの頃からの「好き」を大切に、研究の道へ。



出力電流の確認作業

子どもの頃から理科や数学が好きでした。小学生の時に地元・新潟の工学系大学の文化祭に行った際、防音室や光の波長の実験を見たことがきっかけで理系の道に興味を持つようになりました。現在は電子回路が専門の佐野勇司教授の研究室で、信号処理IC(集積回路)の研究を行い、温度や光の量など世の中にあるさまざまなものを機械で測っています。実は機械のセンサーから得たデータはそのままでは扱いにくく、使いやすいかたちに変換する必要があります。そのためのパーツが「集積回路」です。研究を進めるなかで、低電源電圧化と小面積化を大幅に改良できる回路技術を設計し、電化製品などのコストダウンへ繋がる実用性のある技術を実現できました。そのような研究に没頭するなか、佐野教授から国際学会TJCASにおける口頭発表に挑戦してみようという勧められ参加することになりました。

## 研究成果を伝えるストーリー作りを。

英語での論文執筆や学会発表は、研究者として成長するチャンスです。当然ながら質疑応答も英語で行われるため、アドリブでの対応力も求められます。私は国際学会への参加が決まる前から、すでに進学が決まっていた本学大学院の先行履修として「サイエンス・イングリッシュ特論」という授業を受けていました。授業では英語論文やエッセイの書き方、実際にスライドを使ってプレゼン発表をする機会などがあり、研究者として必要となる実践的な英語をみっちり学ぶことができました。専門用語などの英単語は、誰もが誤解しないように定訳があるためそう難しくはありません。とはいえ、初めて英語で発表する学会。指導してくださった佐野教授、大学院の先輩方には本当に助けていただきました。特に教授からは論文執筆や学会での発表においては都度「ストーリーを考えなさい」と指導されていました。ただ事実を羅列するのではなく、なぜこれやって、どう改善されたのか、何が目標で



それに対して何を得たのか、一番伝えたいポイントは何か。発表の持ち時間が厳しく定められている学会の場だからこそ、しっかりと相手に伝えるための取捨選択とストーリー作りが欠かせないと教えられました。学会本番当日は顎が震えるほど緊張しましたが、時間内に練習通りの発表ができ、これまでの成果を発揮することができました。

## 研究は地道な道のり。だからこそ、愛着が湧く。

今回参加した学会は日本と台湾の学生を対象とした国際学会でした。同じ「回路」といっても私が研究しているアナログ回路とは異なり、デジタル回路などの流行りを取り入れた台湾の学生たちの研究発表は興味深く、大きな刺激を受けました。

私の一日は、前日の研究結果に対する教授からのフィードバックのメールチェックなどから始まります。それをもとに、「次これをやってみたらどうか」「今日はこんなシミュレーションをしてみよう」と考え、研究に勤しむ毎日です。回路をPC上で設計するときは、1センチ四方の四角の中に、さらに細かな部品を一つ一つ重ねて積み上げていく作業を繰り返します。研究は地道なことの積み重ねですが、設計図通りに完成した時やその回路を使って仮説通りのデータが取れた時はうれしく、自分の研究に愛着が湧いていきます。

今回、国際学会という場で優秀賞をいただきましたが、おごることなくまだまだ毎日精進を続けなくてはなりません。将来は企業の研究職として研究開発に携われるよう、4月からは大学院でこの地道な道のりを懸命に進んでいきます。



佐野勇司教授(左)、共同研究者である同研究室の大学院生 西山直哉さん(右)



今回設計した集積回路



愛用している参考書



## 2021全日本ボクシング選手権大会にて、 加藤光選手が優勝、大畑俊平選手が準優勝に輝く

SPORTS  
NEWS 01

東京都・墨田区総合体育館で2021年11月24日からの5日間、2021全日本ボクシング選手権大会が行われました。創部1年目の本学ボクシング部女子部門からは加藤光選手(経営学部会計ファイナンス学科1年)が女子ライトフライ級で出場し、決勝では拓殖大学の選手に5対0の判定で優勝。さらに技能賞も獲得するなど素晴らしいスタートを切りました。また、男子ライト級では大畑俊平選手(経営学部会計ファイナンス学科3年)が準優勝に輝きました。全日本ボクシング選手権大会は、過去に本学卒業生である現WBA世界ミドル級スーパー王者の村田諒太選手など第一線で活躍している選手を輩出したアマチュアボクシング国内最高峰の大会です。今後もボクシング部の躍進に期待が膨らみます。



ボクシング部集合写真



優勝し技能賞を獲得した加藤光選手

## 全日本レスリング選手権大会女子フリースタイル 76キロ級で鏡優翔選手が2連覇を達成

SPORTS  
NEWS 03

2021年12月16日、「天皇杯」令和3年度全日本レスリング選手権大会が東京都・駒沢体育館で開催され、本学レスリング部の鏡優翔選手(社会学部メディアコミュニケーション学科2年)が女子フリースタイル76キロ級に出場し、決勝戦での接戦を制して2連覇を成し遂げました。決勝では積極的に攻撃をしかけるなかで相手に先制を許したものの、持ち前の攻め続けるレスリングを貫いて同点となり、激しい攻防の末、2対2で試合は終了。ラストポイントを奪った鏡選手が勝利しました。昨年5月の世界選手権出場をかけた選考会では、右足首のじん帯に怪我を負った状態で出場し、無念の敗退。悔しさをバネに復帰にむけて練習に取り組み、見事大会連覇の栄冠を掴み取りました。2024年の五輪パリ大会へ出場し、女子最重量級初の金メダル獲得を目指す鏡選手の今後に注目が集まります。



写真提供: 日本レスリング協会



## 関東大学ラグビーリーグ戦1部2部入替戦で 本学ラグビー部が勝利し、29年ぶりに1部復帰へ

SPORTS  
NEWS 02

関東大学ラグビーリーグ戦1部2部の入替戦が2021年12月11日、埼玉県・熊谷ラグビー場で行われました。本学ラグビー部は所属している2部で今シーズン2位となり、1部で7位の中央大学と入替戦で対戦し26対21で勝利。1993年度以来、29年ぶりとなる1部復帰を決めました。試合は本学が先制を浴びせるも一進一退の攻防が続き、後半19分には19対21で中央大学が逆転。しかし後半25分に相手側の反則の流れを受けて今度は本学が逆転に成功すると、終盤の猛攻撃を懸命のディフェンスにより耐え切り、ノーサイドを迎えました。昨シーズンでは2部で優勝と結果を残しましたが、コロナ禍の影響で入替戦が行われなかった経緯もあり、2年越しの悲願達成となりました。果敢にチャレンジし続ける本学ラグビー部の選手たちが、1部の舞台においても活躍する姿に期待が高まります。



## アイススケート部ホッケー部門が 日本学生氷上競技選手権大会で優勝し、2連覇達成

SPORTS  
NEWS 04

2021年12月、北海道・帯広の森アイスアリーナで第94回日本学生氷上競技選手権大会アイスホッケー競技(ファーストディビジョン)が開催されました。本学アイススケート部ホッケー部門は29日の決勝まで勝ち進み、対戦相手の明治大学に勝利し、優勝の栄冠に輝きました。試合は本学が先制点を決めるも、その後競り合いながら進む緊張感のある展開でしたが、7対5で勝利。3年DFの武部太輝選手(社会学部社会文化システム学科3年)が大会MVPに、FW久米誠斗選手(社会学部社会文化システム学科4年)、FW小堀雄太郎選手(社会学部社会文化システム学科4年)、DF木村俊太選手(社会学部社会文化システム学科2年)、GK佐藤永基選手(社会学部社会文化システム学科2年)の4名がベストシックスに選出されました。今回の優勝によって、冬のインカレを2連覇、さらに今季秩父宮杯、秋のリーグ戦と合わせた年間3冠を13年ぶりに達成。シーズン公式戦を無敗で終え、名実ともに大学日本一となりました。



## 陸上競技部女子長距離部門が 2021富士山女子駅伝にて奮闘

SPORTS  
NEWS 05

2021年12月30日に2021全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)が開催され、静岡県・富士山本宮浅間大社の鳥居前から富士総合運動公園陸上競技場までを走る7区間 計43.4kmのコースを、本学を含む24チームが競いました。1区を走行した下里芽依選手(食環境科学部食環境科学科2年)が区間4位で好スタートを切り、中盤の4区では佐竹結衣選手(食環境科学部食環境科学科3年)が集団での競争を制して順位を上げ、区間5位で襷を繋ぐなど要所で懸命な走りを見せました。最後は2時間30分04秒でゴールし前大会と同じ13位で終わりました。

昨年10月の全日本大学女子駅伝対校選手権大会に出場することができず、現在のチームとして挑む最初で最後の駅伝となった今回のレースでは、1・2年の下級生の多くが主要区間を担当し、大きな経験を積むことができました。大学女子駅伝のレベルが年々上がっており、本学でもチーム全体の強化に向けた新たなチーム作りをしていきます。



1区 下里 芽依選手



4区 佐竹 結衣選手

## サッカー部男子部門・女子部門から13選手が プロ・アマサッカークラブに加入 <2022年2月4日現在>

SPORTS  
NEWS 06

本学サッカー部男子部門から6名、女子部門から7名の計13選手が、プロ・アマサッカークラブと契約し、2022年シーズンより加入することが決まりました。新しい舞台での活躍にご注目ください。



青木 祐太選手  
国際観光学部  
内定先:  
Honda FC  
(JFL/日本フットボールリーグ)



牛久保 鈴子選手  
食環境科学部  
内定先:  
ノジマステラ神奈川相模原  
(WEリーグ)



大森 大地選手  
国際観光学部  
内定先:  
アルビレックス新潟  
シンガポール  
(シンガポールプレミアリーグ)



笠嶋 哲太選手  
国際観光学部  
内定先:  
プリオベッカ浦安  
(関東サッカーリーグ1部)



神山 京右選手  
国際観光学部  
内定先:  
カタレ富山  
(J3リーグ)



佐々木 葵選手  
食環境科学部  
内定先:  
伊賀FCくノ一三重  
(なでしこ1部リーグ)



塩谷 瑠南選手  
食環境科学部  
内定先:  
パニーズ群馬FC  
ホワイスター  
(なでしこ1部リーグ)



澁澤 光選手  
食環境科学部  
内定先:  
大宮アルディージャ  
VENTUS  
(WEリーグ)



出末村 亜美選手  
食環境科学部  
内定先:  
ノジマステラ神奈川相模原  
(WEリーグ)



中原 藍選手  
食環境科学部  
内定先:  
パニーズ群馬FC  
ホワイスター  
(なでしこ1部リーグ)



中村 勇太選手  
国際観光学部  
内定先:  
ヴェルスバ大分  
(日本フットボールリーグ)



林 みのり選手  
食環境科学部  
内定先:  
大宮アルディージャ  
VENTUS  
(WEリーグ)



横山 壘選手  
国際観光学部  
内定先:  
モンテディオ山形  
(J2リーグ)

卒業生  
速報  
SPORTS

大相撲令和4年一月場所において、御嶽海関(2015年法学部卒業、出羽海部屋所属、本名大道久司さん)が3度目の幕内優勝を果たし、本学卒業生力士として初となる大関に昇進しました。

北京冬季五輪のスキー・アルペン競技2種目に安藤麻選手(2019年法学部卒業)が出場し、女子ジャイアントスラローム(大回転)で24位、女子スラローム(回転)は途中棄権となりました。

## 「在学生アンケート」から ウィズコロナ2年目を迎えた学生の声を紹介

NEWS 01

本学では学生一人ひとりの学修行動、成長実感・満足度等を把握し、教育活動等の自己点検・評価、そして改革・改善の検討を図るため、毎年在学生アンケートを実施しています。

2021年11月から実施したアンケート調査では、「大学に入ってから、新型コロナウイルスの影響で断念したことはありますか」という質問に対し、約半数の学生が『部活・サークル活動』『友人との交流』と回答。また海外渡航が難しい状況から短期や長期の『海外留学・研修』と回答する学生もいました。「今後、新型コロナウイルスの事態が収束した後、経験したいことはありますか」という質問においても『友人との交流』『部活・サークル活動』の回答数が最も多く、学生間の活発な交流を待ち望む声が多いことが改めて感じられました。次いで多かった回答は『資格・免許の取得』で、アフターコロナに向けた新たなチャレンジへの意欲も見られる結果となりました。

- 回答期間: 2021年11月19日~12月17日
- 対象: 学部1~4年生
- 回答率: 39.5% (11,670人)
- 回答方法: ToyoNet-ACEによるWebフォーム(全18問)

※アンケート結果の詳細は、東洋大学公式Webサイトで公開しています。

東洋大学TOP > 東洋大学について >  
IR (Institutional Research) >  
学生アンケート > アンケート結果  
www.toyo.ac.jp/about/ir/survey/results/



Q 大学に入ってから、新型コロナウイルスの影響で断念したことはありますか。(複数選択/上位7項目)

部活・サークル活動	54.4%
友人との交流	46.8%
海外留学・研修(短期)	26.3%
ボランティア活動	19.8%
アルバイト	19.7%
海外留学・研修(長期)	17.6%
資格・免許の取得(教育実習・現場実習等を含む)	12.0%

Q 今後、新型コロナウイルスの事態が収束した後、経験したいことはありますか。(複数選択/上位7項目)

友人との交流	46.6%
部活・サークル活動	38.0%
資格・免許の取得(教育実習・現場実習等を含む)	34.4%
海外留学・研修(短期)	29.6%
ボランティア活動	27.1%
国内インターンシップ	23.4%
アルバイト	21.6%

## 2021年度「井上円了が志したものは」の 入賞者表彰式を挙行

NEWS 02

2021年度「井上円了が志したものは」の入賞者表彰式が、2021年12月21日に白山キャンパスにて執り行われました。このコンテストは、本学創立者井上円了の偉大な志はどのようなものであったのかを、教育理念等を中心に探究し、自分の生き方や現代社会に照らし合わせ今後どのように活かしていくかを考え、文章にまとめ表現した優秀な作品を選出するものです。今年度も多くの作品が集まり、学長賞(最優秀賞)については東洋大学生の部では奥西極さん(大学院文学研究科1年)の『「独立自活」—学問の自由の防波堤であれ—』が、一般の部では広林真理子さんの『教育界で働いている私が円了先生から励ましをもらった』が受賞しました。

表彰式にはオンライン参加を含め優秀作品に選ばれた10名が参加。矢口悦子学長、小林秀年井上円了哲学センター長、久野裕之雨水会副会長が祝辞を述べ、奥西極さんが入賞者を代表して受賞スピーチをしました。多くの人々に学びの機会を与えた円了に触れ、現代社会の学びに受け継ぐ貴重な機会となりました。



## 学生同士が学部・学年を超えて切磋琢磨。 2021年度 英語スピーチコンテストを開催

NEWS 03

2022年1月8日に、国際教育センター主催による第7回英語スピーチコンテストを白山キャンパスにて開催しました。

今年度の英語スピーチコンテストでは、新型コロナウイルス、SDGs、気候変動、東京オリンピック・パラリンピック等のいずれかのテーマを選んでその調査研究を行い、一人5分のスピーチ原稿を作成して発表。予選を勝ち抜いた代表の13名で、学部・学年を超えた本選が行われました。

今回1位に輝いた片山侑芽さん(国際観光学部国際観光学科2年)は、SDGsの目標4「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」に関するテーマを選び、貧困や性差別により教育を受けられない子どもが世界に多くいる現状を語り、自身の活動経験をもとに今からできることを訴え、同年代の行動を促すスピーチをしました。当日の様子はYouTube Liveで配信をし、学生たちの語学学習の成果を多くの方に視聴いただきました。今後も本学は、学生の英語スキル向上を図る取り組み・環境づくりに努めていきます。



片山侑芽さん

## 日本語学習成果を発表する 2021年度 日本語プレゼンテーションコンテストを開催

NEWS 04

2022年1月8日に国際教育センター主催による日本語を母語としない学生を対象とした第4回日本語プレゼンテーションコンテストを白山キャンパスにて開催しました。

今年度は『これからのSDGs -未来に向けた提言』をテーマに、2030年の目標達成年までに何をすべきかを学生自身の専門にもとづき、スライド等を用いて発表。予選を勝ち抜いた8名の出場者は皆、流暢かつ高度な日本語を使いこなし、論理的かつ独創的なプレゼンテーションを展開しました。1位と観客賞を受賞したバホディロフ アクバルジョンさん(国際学部グローバル・イノベーション学科3年)は、『学校給食での残食と日本社会での食品ロスに向けた対策』を学校給食の残食率に着目して問題提起し、各学校での取り組みに加えて、アプリを活用した残食の「見える化」を通じて食べ残しを減らす意識付けを図り、教育に取り入れることで問題解決につながると提言しました。

本学では、留学生の日本語能力の向上、日本での就職を視野に入れたビジネス日本語教育にも力を注ぎ、学術・実務の双方で活躍するための日本語力養成を推進していきます。



バホディロフ アクバルジョンさん

## 2024年4月に向け朝霞キャンパスの 整備工事における安全祈願祭を挙げる

NEWS 05

朝霞キャンパス既存校舎の改修ならびに新校舎等を建築する整備工事の安全祈願祭が2022年2月2日に執り行われました。本学関係者として安齋隆理事長や矢口悦子学長をはじめ、朝霞市長、設計監理の石本建築事務所、施工主の大林組が参列し、鍬入之儀や玉串奉奠などが行われました。

2024年4月には、板倉キャンパスの生命科学研究科・生命科学部と食環境科学研究科・食環境科学部食環境科学科フードサイエンス専攻および健康栄養学科、川越キャンパスの理工学研究科生体医工学専攻・理工学部生体医工学科が朝霞キャンパスに移転し、時代のニーズに適した生命(いのち)と食に関する研究科と学部学科が集結する新たな学術拠点となる予定です。キャンパスごとの強みを明確にし、強みを生かして地域の課題解決に貢献していきます。



鍬入之儀を行う安齋理事長

## 東洋大学報 Web 発行のご案内

本学では、学内広報誌「東洋大学報」を定期的に発行、郵送してまいりました。

本誌につきましては、2022年4月発行の266号よりペーパーレス化の推進を目指し、東洋大学公式 Web サイトでの公開といたします(以下、Web版)。

Web版の学報は従来通り、年4回の発行を予定しています。4月号に限り、紙媒体の冊子(以下、冊子版)を制作し、学生(保証人)宛に郵送いたします。

### 2022年度発行予定スケジュール

2022年 4月 266号 Web版公開、冊子版郵送 ※大学構内ラックにて配架予定

2022年 7月 267号 Web版公開のみ

2022年12月 268号 Web版公開のみ

2023年 3月 269号 Web版公開のみ

Web版は、デジタルブック形式を予定し、冊子をめくる感覚で閲覧することができます。

東洋大学公式 Web サイト「東洋大学報」ページのご案内

<https://www.toyo.ac.jp/about/gakuhou/>



東洋大学報の  
バックナンバーも  
ご覧いただけます。



## 体育館・図書館などを備えた HELSPO HUB-3が 赤羽台キャンパスに完成予定

赤羽台キャンパスでは、ライフデザイン学部が学ぶ2021年完成の新校舎WELLB HUB-2(ウェルビー ハブ ツー)、2022年誕生の国際交流宿舎AI-House HUB-4(アイハウス ハブ フォー)に続き、体育館、図書館などを備えたHELSPPO HUB-3(ヘルスポ ハブ スリー)の建設工事が2023年1月の完成に向けて進んでいます。

HELSPPO HUB-3は、WELLB HUB-2とガラス張りのブリッジでつながり、2023年4月開設予定の2つの新学部、福祉社会デザイン学部\*と健康スポーツ科学部\*の学生が学びます。HELSPPO HUB-3の名称の由来は、健康スポーツ科学部\* = Faculty of Health and Sports Scienceであり、健康・スポーツ科学分野でのアジアにおける教育・研究の拠点を指すという意味が込められています。

HELSPPO HUB-3の誕生により、赤羽台キャンパスがよりいっそう「情報」「福祉」「デザイン」「健康・スポーツ科学」の領域で、少子高齢化や健康問題などの社会課題の解決に貢献することが期待されます。

\*2022年2月現在設置構想中。学部名称は仮称であり、計画は変更となる可能性があります。



©浅古陽介

2021年度学位記授与式・卒業式

挙行日	2022年3月23日(水)	式場	日本武道館
-----	---------------	----	-------

注意事項



- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い変更となる可能性があります。変更が生じた場合には本学Webサイトにて周知いたしますので、必ず最新情報をご確認ください。
- 卒業生・修了生のみのお入りとします。ご父母(保証人)の来場については、本学Webサイトをご確認ください。
- 個人への学位記・卒業証書等の交付方法は、学部・研究科で異なります。本学Webサイトにて確認してください。
- 当日来場できない卒業生・修了生やご父母(保証人)等に向けて、ライブ配信も予定しています。

●午前の部

	対象学部・研究科	開場(予定)	開式	閉式(予定)	学位記・卒業証書等交付方法
学部	文、法	9:00	10:00	11:15	発送します
	理工、総合情報				
	ライフデザイン				
	生命科、食環境科				
研究科	理工学、学際・融合科学	9:00	10:00	11:15	発送します
	総合情報学				
	ライフデザイン学、福祉社会デザイン(ヒューマンデザイン専攻)				
	生命科学、食環境科学				
通信教育	文、法				

●午後の部

	対象学部・研究科	開場(予定)	開式	閉式(予定)	学位記・卒業証書等交付方法
学部	経済、経営、社会、国際地域、国際、国際観光	13:00	14:00	15:15	発送します
	情報連携				詳細はメールで配信します
研究科	文学、経済学、経営学、法学、社会学、社会福祉学、福祉社会デザイン(社会福祉学専攻)、国際学、国際観光学、国際地域学	13:00	14:00	15:15	発送します
	情報連携学				詳細はメールで配信します

東洋 2021年度学位記授与式・卒業式

検索



< 卒業生向けサービスのご案内 >

刊行物送付について

2019年度より、卒業生に向けた情報誌「Alumni of Toyo University」を年1回発行しています。Alumniでは、本学卒業の著名人や各界で活躍する卒業生を紹介するとともに、関連する商品や施設の情報および、東洋大学の今、学生たちの今など多くの特集を掲載していきます。送付先の変更等は、下記お問い合わせ先にあるWebサイトから手続きが可能です。2022年度(第25回)ホームカミングデーは、2022年10月30日(日)に開催を予定しています。詳細は決定次第Webサイトまたは右記Facebookでお知らせいたします。卒業生の皆様のご参加をお待ちしております。コロナ禍により、実施方法については決定次第、本学Webページ等でお知らせします。

東洋大学オフィシャル Instagram

東洋大学オフィシャル Instagramでは、学生や卒業生のご活躍をリアルタイムで配信しています。是非フォローいただき、大学の今をご確認ください。



卒業生向け Facebook

Facebook「卒業生ラウンジ 東洋大学 / Alumni Lounge Toyo University」では、大学から卒業生への各種講演会・セミナーなどの情報を発信しています。卒業生同士の交流の場としてもご利用いただけます。



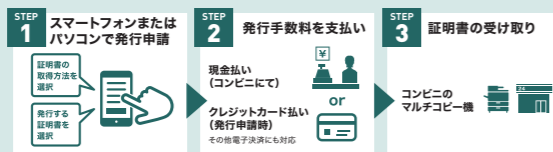
東洋 卒業生ラウンジ

検索

証明書のコンビニ発行サービスが開始

コンビニエンスストアで証明書を取得できるサービスが2021年4月1日より開始されました。対象となるのは在学生の6種類、卒業生(2013年3月以降に卒業・修了した方\*)の2種類の証明書で、オンラインでの申請後、全国のセブン・イレブン、ファミリーマート、ローソンの店舗に設置されているマルチコピー機で取得することができます。

サービス導入後のイメージ



在学生	在学証明書 成績証明書 履修科目証明書 卒業(修了)見込証明書 教育職員免許状取得見込証明書 健康診断証明書(本学書式) 卒業(修了)証明書
卒業生(修了生)	卒業(修了)証明書 成績証明書

▶詳細や上記以外の証明書の発行については公式Webサイトでご確認ください ※2012年9月以前の卒業生については、申請・支払いのみ利用可能、受け取りは郵送となります。

在学生 <https://www.toyo.ac.jp/s/certificate/>

卒業生 [https://www.toyo.ac.jp/s/certificate\\_alumni/](https://www.toyo.ac.jp/s/certificate_alumni/)



お問い合わせ先 卒業生・雨水会連携推進課 TEL03-3945-7390

\*本学Webサイトに、卒業生・修了生向けのページ「卒業生の方」を公開しています。

< 2022年度 奨学金新規採用募集(学部生対象) >

新たに日本学生支援機構の貸与型奨学金や給付型奨学金(修学支援新制度による授業料等減免を含む)の受給を希望する学生は、4月に実施する春の在学採用募集へ忘れずに申請してください。詳細は本学情報システムやWebサイト等を通じて3月ごろにご案内します。本学独自の奨学金等についても同時期にご案内する予定です。

東洋 2022年度奨学金採用募集

検索

< 新型コロナウイルス感染症対策特別奨学金「RIBBON」による生計維持者の失職に対する緊急支援 >

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生計維持者(父/母)が失職したことにより、経済的に困窮している学生の修学継続支援を目的として、奨学金「RIBBON」による緊急支援を実施しています。「RIBBON」は校友会・雨水会(保護者)・役員・教職員をはじめとする皆様からの寄付を原資としています。詳細は本学Webページでご案内しています。

東洋 RIBBON 緊急支援

検索

< 2022年度 定期健康診断の実施について >

定期健康診断は各キャンパスで実施します。詳細は本学情報システムやWebサイト等を通じて3月末ごろにご案内しますので各自受診してください。受診しない場合、各種実習への参加や一部科目の履修ができないことがあります。また、健康診断証明書を大学で発行できません。

東洋 2022年度定期健康診断

検索

お問い合わせ先 学生支援課 TEL03-3945-7124

< 2022年度納付金について >

振込用紙発送予定日

2022年4月19日(火) ※到着は2~3日後になる場合があります

< 送付先 >

学部生(第1部): 保証人住所宛  
学部生(第2部): 入学時に選択した住所宛(本人または保証人)  
留学生・大学院生: 本人住所宛  
※ 送付先住所に変更がある場合は、学生本人が「ToyoNet-G」で住所変更手続きを行ってください。

< 納入方法 >

入学時期によって、お送りする振込用紙の種類は異なります。  
4月入学生: 振込用紙は「全納」と「分納」の2種類をお送りします。いずれかをご選択ください。  
10月入学生: 2021年10月に分納を選択した学生のみ「分納」の振込用紙をお送りします。  
納入期間中に、振込用紙に記載された注意事項をよく読んでお振り込みください。

< 注意事項 >

振込用紙の不着・紛失の場合は下記のお問い合わせ先にてご連絡ください。

< 納付金に関するお問い合わせ先 >

- 白山キャンパス 経理部財務課 mlgakuhi@toyo.jp
- 川越キャンパス 川越事務部総務課 mlkawaso@toyo.jp
- 板倉キャンパス 板倉事務部板倉事務課 mlikeiri@toyo.jp
- 赤羽台キャンパス 赤羽台事務部赤羽台事務課 ml-iniad-fs@toyo.jp (情報連携学部/情報連携学研究科)
- mlajim@toyo.jp (ライフデザイン学部/ライフデザイン学研究科)

▶詳細はWebサイトにて掲載

東洋大学トップ > 教育 > 学生生活 > 授業・納付金 > 納付金(学費等)

<https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/jyugyou/campuslife>



< 2022年3月末で定年または任期満了となり退職される教員 >

定年または任期満了で退職される教員の方々をご紹介します。皆様のご健勝とさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

- 大学院理工学研究科生体医工学専攻 望月 修教授
- 文学部国際文化コミュニケーション学科 鈴木 雅光 教授
- 経済学部経済学科 鈴木 孝弘 教授
- 経済学部経済学科 竹澤 康子 教授
- 経済学部国際経済学科 田中 秀人 教授
- 経営学部経営学科 幸田 浩文 教授
- 経営学部経営学科 中鉢 恵一 教授
- 経営学部マーケティング学科 小川 純生 教授
- 法学部企業法学科 大森 文彦 教授
- 社会学部社会学科 中山 伸樹 教授
- 社会学部社会福祉学科 森田 明美 教授
- 社会学部社会心理学科 大島 尚 教授
- 国際学部グローバル・イノベーション学科 佐藤 節也 教授
- 国際学部国際地域学科 安 相景 教授
- ライフデザイン学部健康スポーツ学科 浅間 正通 教授
- 理工学部生体医工学科 田中 尚樹 教授
- 理工学部電気電子情報工学科 篠永 英之 教授
- 理工学部応用化学科 泉 克幸 教授
- 理工学部応用化学科 田島 正弘 教授
- 理工学部建築学科 秋山 哲一 教授
- 総合情報学部総合情報学科 安達 由洋 教授
- 総合情報学部総合情報学科 島田 裕次 教授
- 総合情報学部総合情報学科 杉本 富利 教授
- 生命科学部応用生物科学科 角野 立夫 教授
- 食環境科学部食環境科学科 玉岡 迅准 教授
- 食環境科学部食環境科学科 林 清 教授

(学部学科・氏名五十音順)